

Woodlands (ウッドランズ)

Watson Family Wines(ワトソン・ファミリー・ワインズ)

ワイナリー紹介

[オーナー：デイヴィッド&ヘザー・ワトソン]

[ワインメーカー：スチュワート・ワトソン、デイヴィッド・ワトソン]

デイヴィッド&ヘザー・ワトソン夫妻がボルドーの偉大なヴィンヤードを目指し1973年に設立。西オーストラリア州マーガレットリヴァーにおける最初の5か所の葡萄園の1つです。“アンドリュー”カベルネ・ソーヴィニヨン1981年をリリースすると国内多くのワインコンペティションで「ベストレッドワイン」のトロフィーを始めとした多くの賞を受賞し、「デイヴィッド・ワトソン」が造るカベルネは多くの評論家達からも称賛を得ました。1992年、ワトソン夫妻は子供の教育の為、パースに移り住み事実上ワインの生産を中断し、その間造られていたブドウはその地区の知名度の高い生産者に販売していました。1999年ワイン造りを再開、十分に成長した葡萄畑の維持は繊細に行なわれ、特に除草、剪定等は人の手により行なわれ葡萄は手摘みされます。2002年からは息子であるスチュワートがデイヴィッドのポリシーを守りワインメーカーとなっています。

2019 WFW Sauvignon Blanc Semillon (ワトソンファミリーワインズ ソーヴィニヨンブラン・セミヨン)

産地	:	西オーストラリア州 マーガレットリヴァー
味わいタイプ	:	やや辛口
ブドウ品種	:	ソーヴィニヨン・ブラン 50%、セミヨン 50%
アルコール度数	:	12.5 %
参考小売価格	:	¥2,980 (税別)



ワインの特徴

マーガレットリヴァーはカベルネで高い評価を得ていますが、ボルドーの白品種であるセミヨンとソーヴィニヨン・ブランも高い評価を得ています。

2019年はマーガレットリバーにとって古典的な年であり、暑さと降雨の両方の極端な状況を避けた。実際、2019年は80年代と90年代のマーガレットリバーの平均的なヴィンテージの状態に非常に近く、最近のヴィンテージは著しく暖かくなりました。2019年の白は、明るさ、繊細さ、バランスの良さが特長です。

西オーストラリア州マーガレットリヴァー地区にウィルヤブラップヴァレーの中心にある畑のブドウを使用。収穫されたブドウは冷却後プレスされ、大部分はステンレススティールで発酵。葡萄本来の特長を引き立てるために野生酵母で発酵しています。その後全体の5%を樽熟成させて造られています。

味わい

明るく淡い麦わら色。グーズベリー、白い花、スイカズラ、レモンの皮のアロマ。口当たりはクリーンで、豊潤な果実の味わいが楽しめます。すっきりとした酸味が後味を引き締めています。魚のグリルやチップスと一緒に楽しみください。リラックスしたい時にお勧めのワインです。